

(参考) 令和4年度 第2回 広域連携推進協議会専門部会 議事録概要 (7月21日開催分)

## 1 第2期「宮崎市地方創生総合戦略」の重点目標及びKPIの評価・検証について

### (1) 事務局説明(宮崎市企画政策課)

#### ① 令和4年度 第2期「宮崎市地方創生総合戦略」の重点目標及びKPIの評価・検証について(概要版) 資料1-0

- ・ 総合戦略には15の「重点目標」と77の「KPI」を設定
- ・ 評価は達成率に応じて、「5」～「1」、「-」及び「空白」で評価
- ・ 「-」は「評価が3以下かつ新型コロナウイルス感染症の影響を受けた指標」で、「評価ができない」としている
- ・ 15の重点目標では、「評価5」が3つ、「評価4」が4つ、「評価3」が1つ、「- (評価できない)」が4つ、「空白」が3つ
- ・ 77のKPIでは、「評価5」が24、「評価4」が16、「評価3」が3、「評価2」が2、「評価1」が1、「- (評価できない)」が31

#### ② 第2期「宮崎市地方創生総合戦略」重点目標及びKPIの評価一覧(2021年度実績)

##### 資料1-1

- ・ 資料の見方は、1ページの上方3つの※に記載
- ・ 全体として、1ページの「1 子育て支援の充実」、2ページの「3 居住環境の充実」、3ページの「4 人材の育成」の重点項目については、「評価5」又は「評価4」となったKPI等が多数
- ・ 一方、3ページの重点項目「5 雇用の場の創出」は、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、「- (評価できない)」となったKPIが多数あり、4ページの「6 ブランド力の向上」及び「7 広域公共交通網の構築とインフラの維持整備」は、そのほとんどが「- (評価できない)」となった

#### ③ 第2期宮崎市地方創生総合戦略 重点目標及びKPI(重要業績成果指標)等実績評価シート 資料1-2

##### 【重点項目1 子育て支援の充実】

- ・ 13のKPI等のうち、「評価5」及び「評価4」が10項目あり、他の重点項目と比較しても高評価
- ・ 1ページのKPI「特定不妊治療費助成件数」は、令和2年度(2020年度)に新型コロナウイルス感染症の影響で治療を控えていた夫婦が、令和3年度(2021年度)に治療した影響により、件数が伸びたものと推察
- ・ 6ページのKPI「ファミリーサポートセンターの活動件数」は、新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ、利用料の一部を助成したことにより、達成率が300%超
- ・ 重点項目「1 子育て支援の充実」については、指標こそ高評価となっているが、その要因は、新型コロナウイルス感染症の影響を受けているものと推察

##### 【重点項目2 医療・福祉の充実】

- ・ 8ページの重点目標「医療サービスに満足している人の割合」は「評価3」
- ・ 初期救急医療体制の確保や、医療安全の確保に取り組んだものの、医療サービスの内容や実施主体が多岐にわたることによるものと推察
- ・ 8ページのKPI「夜間急病センター開設日数」や、13ページの「障がい者の相談支援延べ利用者数」は、目標値を達成し、「評価5」
- ・ 一方、10ページの「5つのがん検診平均受診率」、11ページの「自立支援型地域ケア会議に諮るケアプラン数」及び「認知症サポーター養成者数」は、2020年度実績値よりは上昇したものの、依然として新型コロナウイルス感染症の影響を受けている

##### 【重点項目3 居住環境の充実】

- ・ 17ページのKPI「宮崎市産材関連事業を活用した住宅戸数」は「評価1」
- ・ その要因としては、国や県に同様の補助制度があること等が挙げられるため、補助のあり方を見直すなど、利用促進の検討をする
- ・ 同17ページのKPI「植林面積」は「評価2」
- ・ 植林に係る補助を継続して実施しているが、高齢化、世代交代等により、森林に無関心な森林所有者が増加していることが要因と推察
- ・ 20ページのKPI「移住センターが関与した移住世帯数」及び「移住センターにおける移住希望者の相談件数」は、オンラインイベント実施など、新型コロナウイルス感染症の影響下での工夫により成果が出ているものと推察

##### 【重点項目4 人材の育成】

- ・ 21ページの重点目標「県内新規学卒者の就職内定者のうち県内就職内定率」は「評価4」
- ・ 「大学等卒業」は目標未達、「高校卒業」は目標到達だが、年度によってばらつきがあるため、引き続き、地元の高校、大学等との連携により、学生や保護者の地元企業への関心を高めるなど、関係機関と連携し、地元定着の取組を推進する

##### 【重点項目5 雇用の場の創出】

- ・ 27ページのKPI「創業支援事業計画に基づく創業者数」は「評価3」
- ・ 2021年度実績未確定のため、2020年度実績での評価であるが、新型コロナウイルス感染症の影響下でも、創業については一定のニーズがあり、相談件数も多くあることから、引き続き、創業者のニーズに応じた制度について、情報提供できるよう努める
- ・ 「重点項目5 雇用の場の創出」についても、18のKPI等のうち、新型コロナウイルス感染症の影響を受けて、「- (評価できない)」となった指標が約半数

##### 【重点項目6 ブランド力の向上】

##### 【重点項目7 広域公共交通網の構築とインフラの維持・整備】(共通)

- ・ 重点目標及びKPIのほとんどが、新型コロナウイルス感染症の影響を受けて、「- (評価できない)」となっている

#### (2) 質疑応答等 資料7 のとおり

## 2 第2期「国富町まち・ひと・しごと創生総合戦略」の重点目標及びKPIの評価・検証について

### (1) 事務局説明（国富町企画政策課）

#### ① 第2期「国富町まち・ひと・しごと創生総合戦略」重点目標及びKPIの評価一覧（2021年度実績） 資料2-1

- ・ 国富町では、11の「重点目標」と、68の「KPI」を設定
- ・ 重点目標では、3項目が「評価5」、1項目が「評価4」、残りは、アンケート調査の未実施や統計調査の結果が出ていないものなど、現段階では実績として表示できないもの
- ・ KPIは、成果が上がっていると評価できる「評価3」以上が43項目で全体の63.2%
- ・ 成果が上がっていないと評価される「評価2」「評価1」が13項目で全体の19.1%
- ・ 新型コロナウイルス感染症の影響を受けた指標と、現段階で実績として示せない「－（評価できない）」が12項目
- ・ 2020年度と2021年度については、人口動態における社会動態がプラスに転じるなど少しずつ効果が現れているのではないかと考えている

#### ② 第2期 国富町まち・ひと・しごと創生総合戦略 重点目標及びKPI（重要業績成果指標）等実績評価シート 資料2-2

##### 【重点項目1 子育て支援の充実】

- ・ 1ページの重点目標「子育ての環境や支援の満足度について「満足と感じている人」の割合」の現況値72.6%は、2018年度にアンケート調査を行った時のものであり、次回アンケートは2023年度予定のため、今回の実績値は現況と同じ72.6%としている
- ・ 1ページのKPI「母子保健相談延べ支援件数」は2年連続して新型コロナウイルス感染症の影響を受けたものとして「－（評価できない）」となったが、感染対策を図り予約制で実施したことで、乳児に対する支援事業を継続している
- ・ 2ページのKPI「保育所等の待機児童」及び3ページKPI「児童クラブの待機者数」は、現在のところ待機数が0人が継続しており、今後も継続して取り組んでいく

##### 【重点項目2 医療・福祉の充実】

- ・ 6ページのKPI「特定健康診査受診率」「各種がん検診受診率」「自立支援型地域ケア会議に諮るケアプランの件数」は、検診会場がワクチン集団接種会場になることによる制約や感染拡大時期の中止など、新型コロナウイルス感染症の影響を受けている
- ・ その他のKPIは順調に推移

##### 【重点項目3 居住環境の充実】

- ・ 8ページの重点目標「移住世帯数（累計）」は、実績が目標値に対して大幅に増加
- ・ 2018年度から開始した「働く若者定住促進事業」や国・県と連携して実施する「移住支援金事業」によって多くの申請があり、民間主導による宅地開発とあいまって、町外からの転入者による住宅建築が増加し、移住・定住に関するKPIも順調に推移
- ・ 9ページのKPI「自治会（区）への加入率」は、実績値が下回っており、単身高齢者世帯の増加や高齢者施設等への入所、また高齢を理由とした自治会脱退などが要因

- ・ 地域コミュニティの活性化について、高齢化の進展の中でも町民自らの発想で元気になるまちづくりを推進し、地域住民の親睦・安全安心対策・環境整備等支援したい

##### 【重点項目4 人材の育成】

- ・ 12ページのKPI「新規就農者数」は、新規就農者の拡大を図るため、JAなどの関係機関と情報共有を図りながら相談体制を構築し目標値を達成
- ・ その他の人材育成や人材確保支援は、新型コロナウイルス感染症の影響で開催ができなかったものもあるが、企業が求めるニーズの把握や支援内容の検討が必要

##### 【重点項目5 雇用の場の創出】

- ・ 実績値は、継続して取り組んでいる事業については、おおむね順調に推移
- ・ 16ページのKPI「シルバー人材センター会員数」は、新型コロナウイルス感染症の影響によって、受注業務の減少や退会する人の増加で前年度実績値及び目標値を下回った
- ・ 同16ページのKPI「女性の就労支援事業を活用した就労者数（累計）」は、「女性の就労機会の創出」なのか「企業や事業所の人材不足の解消」なのか、企業の求めるニーズの把握や目的を明確にした支援策を検討する

##### 【重点項目6 ブランド力の向上】

- ・ 18ページの重点目標「国富屋」販路拡大事業による売上金額」は、目標値の14,500千円に対して、実績値が30,704千円となり、新型コロナウイルス感染症による巣ごもり需要も相まって、ふるさと納税返礼品等などの伸びが要因と考えている
- ・ 18ページのKPI「観光入込み客数」「スポーツ合宿宿泊者数」「宿泊者数」は、いずれも新型コロナウイルス感染症の影響を直接的に受けている
- ・ 同18ページのKPI「新たな観光回遊ルートの開発件数」も、法華嶽公園キャンプ場の整備を進め、今の時代にあった仕掛けを展開できるように職員の人員体制を検討した
- ・ まちなかに古墳があることなど、本町にしかない観光資源もあることから、宮崎市に隣接する立地の強みを生かし、文化と自然豊かなまちのアピールも進めていきたい

##### 【重点項目7 広域公共交通網の構築とインフラの維持・整備】

- ・ 20ページの「国富町道路改良率」「スマートインターチェンジの平均利用台数（台/日）」は、主要幹線道路を中心とした道路の新設・改良を年次的かつ継続的に整備を行っており、2019年10月に国富スマートインターチェンジが開通したことから、今後、人・物・情報の交流や新たな物流拠点整備にも大きな期待が寄せられる状況
- ・ 21ページのKPI「生活路線バス運行事業費」は、新型コロナウイルス感染症の影響を受けた宮崎～綾線の地域間幹線系統バスに対して新たな支援を実施したところであり、今後はバス路線の効率化や事業者変更を含めた議論を行う予定
- ・ 同21ページのKPI「コミュニティバス延べ利用者数」は、2021年9月末までの実績
- ・ 同21ページのKPI「新たな地域公共交通システムの会員登録者数」では、上記コミュニティバスに代わり、デマンド型乗合タクシーの運行を10月から開始した
- ・ 効率的な交通手段として交通弱者の日常生活を支援する活用ができ、目標を達成

### (2) 質疑応答等 別紙7 のとおり

### 3 第2期「綾町まち・ひと・しごと創生総合戦略」の重点目標及びKPIの評価・検証について

#### (1) 事務局説明（綾町総合政策課）

##### ① 第2期「綾町まち・ひと・しごと創生総合戦略」重点目標及びKPIの評価一覧（2021年度実績） 資料3-1

- 綾町では、10の「重点目標」と、62の「KPI」を設定
- 重点目標では、「評価5」が7つ、「評価4」が1つ、それから「－（評価できない）」及び「空白」がそれぞれ1つずつ
- 「評価5」とした7つの重点目標のうち6つの指標については、2024年度に改めてアンケートを実施する予定のため、それまでは現況値を実績として据え置いている
- 「空白」となっている資料右上の「町内事業所従業者の人数」は、評価の根拠となる「令和3年経済センサス調査」の結果が未確定のため、今回は「空白」としている
- KPIについては、「評価3」以上が全体の約75%、「評価2」以下が全体の約5%
- 残りは「空白」が1項目、新型コロナウイルス感染症の影響で、「－（評価できない）」とした項目が、医療・福祉の充実やブランド力向上といった施策を中心に12項目

##### ② 第2期 綾町まち・ひと・しごと創生総合戦略 重点目標及びKPI（重要業績成果指標）等実績評価シート 資料3-2

###### 【重点項目1 子育て支援の充実】

- 1ページのKPI「子ども医療費助成事業の継続」は、中学生までの入院、外来等にかかる医療費助成を継続しているが、今後対象者を高校生まで広げる予定で検討中
- 2ページのKPI「保育所等の待機児童数」「児童クラブの待機児童数」は、いずれも待機児童数ゼロ
- 同2ページのKPI「子育て支援センター延べ利用者数」は、新型コロナウイルス感染症の影響により4か月程の閉館をしたため、実績値は大きく減少している

###### 【重点項目2 医療・福祉の充実】

- 3ページのKPI「学校給食における町内での食材購入の割合」「保育給食における食材購入の割合」は、有機JASに格付けされた農産物を給食の食材に加えることで、綾ならではの「有機給食」の実施に向けて取り組んでいる
- 4ページのKPI「特定健康診査の受診率」は、目標値との開きはあるが、受診率は40%台を維持し、県内平均と比べても、比較的高い水準にある
- 同4ページの「認知症サポーター数」は、町内の小・中学生を対象として、認知症サポーター養成講座を開催しており、小学3年から中学3年生までの約550人は全員、認知症サポーターとなっている

###### 【重点項目3 居住環境の充実】

- 6ページの重点目標「協働で行われている事業の数」は、各種イベントや公民館活動などが新型コロナウイルス感染症の影響により中止となり、昨年度を下回った
- 7ページのKPI「防災士資格取得者数」は、消防団員を中心に資格取得を進め、目標値には届かなかったが、人口千人あたりの防災士数は県内3位の取得状況となった

- 8ページの移住に関するKPIは、2021年度はオンラインによる移住セミナーや、都心部からのモニターツアーも開催し、相談件数等も増加
- 今年度から住宅購入や、学生への定期券購入費への補助も始めている
- 一方、移住希望者からの声として、若い世代を中心に働く場所や住む場所にこだわらない方が増え、デジタル環境の充実が移住の必須条件になってきていることや、地域貢献や環境問題に対して意識が高い方が多くいることが特徴としてある
- 自然との共生など綾の特性を活かすことで、こうした若者にも選ばれる町づくりを目指すこと等も検討していく

###### 【重点項目4 人材の育成】

- 9ページの重点目標「認定新規就農者数」について、相談は多くあるが、認定に必要となる国の基準「5年後の年間農業所得目標250万円」を達成するための計画策定が難しく、結果として目標値を下回る実績となった
- 10ページの「新規就農者数（累計）」は、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、移住等に併せて就農を希望する若い世代が増えている状況から、目標値を上回った

###### 【重点項目5 雇用の場の創出】

- 11ページのKPI「農業産出額」は、新型コロナウイルス感染症の影響に伴い、外食産業での消費量の減少により、市場価格も低い水準で推移しているためと考えられる
- 12ページのKPI「中心市街地において空き店舗関連事業を活用した出店数」は、雑貨屋やペットサロン等の4店舗が新規出店した

###### 【重点項目6 ブランド力の向上】

- 14ページのKPI「観光入込客数」「キャンプチーム数」「スポーツ合宿の宿泊者数」、15ページのKPI「宿泊者数」は、それぞれが相互に関連しているが、いずれも新型コロナウイルス感染症の影響を直接的に受けた指標
- 15ページのKPI「自然生態系農業の認証件数」は、実績値に対する説明欄に目標値の変更理由を記載しているが、昨年度の専門部会でいただいた目標値の見直しを行う旨の意見に対応して整理した指標
- 同15ページのKPI「無電柱区間距離」は、2024年度末の完成を目指し、町中心部の町道2路線での施工を実施しており、基盤整備とあわせて、自然を体感できる景観整備を行い、エコな植栽につながる多年草花壇の整備や、森林化構想に向けた社会実証実験を実施している

###### 【重点項目7 広域公共交通網の構築とインフラの維持・整備】

- 16ページのKPI「路線バス本数（平日）」は、新型コロナウイルス感染症の影響で事業主体の経営に大きな影響が出ており、綾町が関係する路線バスの運行本数も現況値から7本減の32本で推移
- 住民生活に極力支障が出ない範囲で、宮崎交通や県、関係自治体などとの対策会議で路線の見直しも協議していくが、路線バスを地域で守っていく取り組みも進めたい

#### (2) 質疑応答等 資料7 のとおり

## 4 第2期「みやざき共創都市圏ビジョン」の重点目標及びKPIの評価・検証について

### (1) 事務局説明（宮崎市企画政策課）

#### 第2期「みやざき共創都市圏ビジョン」重点目標及びKPI 評価シート 資料4

- ・ 「みやざき共創都市圏ビジョン」は、宮崎市が圏域の連携中枢都市となり、国富町や綾町、産業界、大学や金融機関など、多様な主体と連携して様々な取組を促進し、人口減少を抑制するとともに、圏域の経済の活性化や公共サービスの確保を図っていくために、策定したもの
- ・ 第2期「みやざき共創都市圏ビジョン」は、令和2年度から令和6年度を計画期間とするもので、今回、令和3年度（2021年度）実績について、評価・検証をしていただきたい
- ・ 資料4については、7つの重点項目に8つの重点目標、42のKPIを一覧にし、令和3年度の重点目標及びKPIにおける実績値をとりまとめた資料となっている
- ・ 多くの指標は、宮崎市、国富町、綾町の総合戦略に、重点目標、あるいはKPIとして位置付けられている

#### 【重点項目1 子育て支援の充実】

- ・ 1ページ左側、真ん中のKPI「子育て支援センターの延べ利用者数」は、目標値166,448人に対し、2021実績値が78,983人となっており、目標を達成できなかった
- ・ 新型コロナウイルス感染症の影響により、利用者数が大幅に減少した

#### 【重点項目2 医療・福祉の充実】

- ・ 1ページ左側下の重点目標「全地域への生活支援コーディネーターの配置数」は、目標値23人に対し、実績値16人となっており、目標を達成できなかった

#### 【重点項目3 居住環境の充実】

- ・ 1ページ右側中ほどのKPI「自治会加入率」は、目標値61.6%に対し、実績値53.8%となっており、目標を達成できなかった

#### 【重点項目6 ブランド力の向上】

#### 【重点項目7 広域公共交通網の構築とインフラの維持・整備】

- ・ 2ページ右半分の「重点項目6 ブランド力の向上」及び「重点項目7 広域公共交通網の構築とインフラの維持・整備」は、軒並み、新型コロナウイルス感染症の影響を受けた形となっている

### (2) 質疑応答等 資料7 のとおり

## 5 その他（今後のスケジュール）

### (1) 事務局説明（宮崎市企画政策課）

#### 令和4年度 第2期「地方創生総合戦略」及び第2期「みやざき共創都市圏ビジョン」の評価・検証等スケジュール 資料5

- ・ 上段が「広域連携推進協議会専門部会」、下段が「広域連携推進協議会」の開催予定
- ・ 今回ご協議等いただいた、宮崎市、国富町、綾町の第2期「地方創生総合戦略」、及び第2期「みやざき共創都市圏ビジョン」の評価・検証については、来月8月29日の協議会でご議論いただく予定
- ・ その後の流れについて、従来は、国の「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の基本方針が6月頃に示され、12月に改訂されており、その改訂内容を踏まえ、1市2町の「地方創生総合戦略」及び「みやざき共創都市圏ビジョン」の改訂を行っているところ
- ・ しかし、今年度については、現時点において、国の動きが不透明であることから、現段階として、年内の国の動きを踏まえ、1月以降に最終案を作成し、3月24日の協議会を経て、1市2町の「地方創生総合戦略」、及び「みやざき共創都市圏ビジョン」の改訂を行うスケジュールで考えているところ

### (2) 質疑応答等 特になし